

ササクレヒトヨタケ

野外栽培マニュアル



ササクレヒトヨタケは、他のきのこと比較して発生温度の幅が広く、比較的高温の条件下でも収穫が可能です。
寒冷紗掛けしたほだ場などの野外簡易施設において、夏季・冬季を除き、子実体の収穫が可能です。



ササクレヒトヨタケ野外栽培マニュアル

2019年3月発行

編集・発行：三重県林業研究所
〒515-2602 三重県津市白山町二本木3769-1
TEL 059-262-0110 FAX 059-262-0960
E-mail: ringi@pref.mie.lg.jp
<http://www.pref.mie.lg.jp/ringi/hp/index.htm>

三重県林業研究所

◆ ササクレヒトヨタケ栽培工程(野外栽培) ◆

培地作製

袋詰め

1日

殺菌

放冷・接種

1日



バークたい肥に米ぬか等の栄養体を混合し、含水率を62%前後に調整します。



ポリプロピレン製の袋に培地を2.5~3.0kg程度詰めます。



培地内の温度を118℃以上で1時間程度維持し、培地内の害菌を殺菌します。



クリーンな条件下で1晩放冷した後、ササクレヒトヨタケ種菌を接種します。

培養

2ヶ月程度

発生処理

1日

発生

収穫・出荷

1日



温度20~24℃、湿度70%程度の条件下で2カ月程度培養します。



培養が完了した菌床をプラスチック容器等に埋め込み、シイタケ人工ほだ場などに設置します。



菌床が乾かない程度に散水し、発生を促します。
(研究所の栽培試験では朝、夕の2回10分間の自動散水を行いました。)



きのこの傘が膨らむ前に収穫しパック詰めします。
(自然発生のため、収穫量は季節の変化に大きく左右されますが、5月~6月、9月~11月までの期間で子実体の発生が確認されました。)